

全国海運組合連合会
第294回理事会議事録

日時 平成23年5月26日(木) 12:00~14:20

場所 神戸市・生田神社会館・4階会議室

出席者 理事42名(別紙名簿の通り)

議題

1. 内航海運代替建造対策検討会答申の対応の件
2. 平成22年度事業報告書及び収支決算書・財産目録及び貸借対照表承認の件
3. 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
4. " 徴収賦課金分担(案)承認の件
5. 来期役員等全員任期満了による改選の件
6. その他

議事

定刻、過半数の理事の出席を得て本理事会は適法に成立、定款の定めにより小比加会長が議長となり開会挨拶があり、本日の理事会は、来る6月9日開催の通常総会に上程する決算関係、予算関係等の議案について慎重審議を願うため開催したと述べた後、本理事会の議事録署名人として議長の他、原田副会長及び高木専務理事を指名し議事に入った。

議題1. 内航海運代替建造対策検討会答申の対応の件

本件について、議長は大要以下の通り説明した。

3月31日の検討会で方向性が打ち出されたが、現在の処、この方向性にもとづいて国交省から叩き台が出されると聞いている。

予定では、6月8日の総連合会政策委員会の場で内航課長から提示・説明があることになっており、急ピッチで議論を進めていくやに聞いている。

先刻、理事会に先立ち開催した正副会長会議においても暫定措置事業問題は、我々にとって大変重要な問題であり、オーナー組合の意向が十二分に反映されるようしっかり議論して行く方針とすることの認識で意見が一致している。

尚、方向性のポイントは、資料にある通り、競争力の強化に向けた取り組み、環境適応型産業への転換、新たな需要構造への対応、及び暫定措置事業のあり方の4項目であり、これに沿った形で議論が進められることとなる。

今後は、政策委員会で叩き台が提示され次第、各位には速やかに情報開示して参りたい。

又、今後の対応としては、スケジュール的に厳しいことから各種委員会には臨機応変に会議開催を願うご検討方のご協力をお願いしたい、述べ、この後、本件を諮った処、特に発言も無く了承された。